

ご無沙汰しました

2008年も、もう半年が過ぎようとしています。主日のミサに来られる皆さんにはお会いしていますが、いろんな事情で教会に来れない皆さんには、すっかりご無沙汰してしまいました。ミサに来られる方でも、声をかけられる方は限られていて、この半年でも、ぜんぜんお話しできてない方もたくさんおられます。それで、お手紙でも…と思い、「司祭のてがみ」を書くようにしたのですが、この手紙も新年のご挨拶以来のものになってしまいました。ご無沙汰してすみませんでした。

教会の近況や、わたしが日頃思っていることをお伝えします。隅から隅までお読みくださいますように…。そして、種々の理由で教会に来られない方にも、お伝えくだされば幸いです。

今だからこそ…

相変わらず悲惨な事件が起こっている毎日です。日本の社会はどのようになっていくのでしょうか。わたしたちの未来は…、子どもたちの未来は…そして、地球の未来は…。

社会、世界のあらゆる分野でウソが明らか

にされています。わたしたちは、いっぱいだまされて生きてきました。このような時代だからこそ、本当のことを大切に、伝えあ

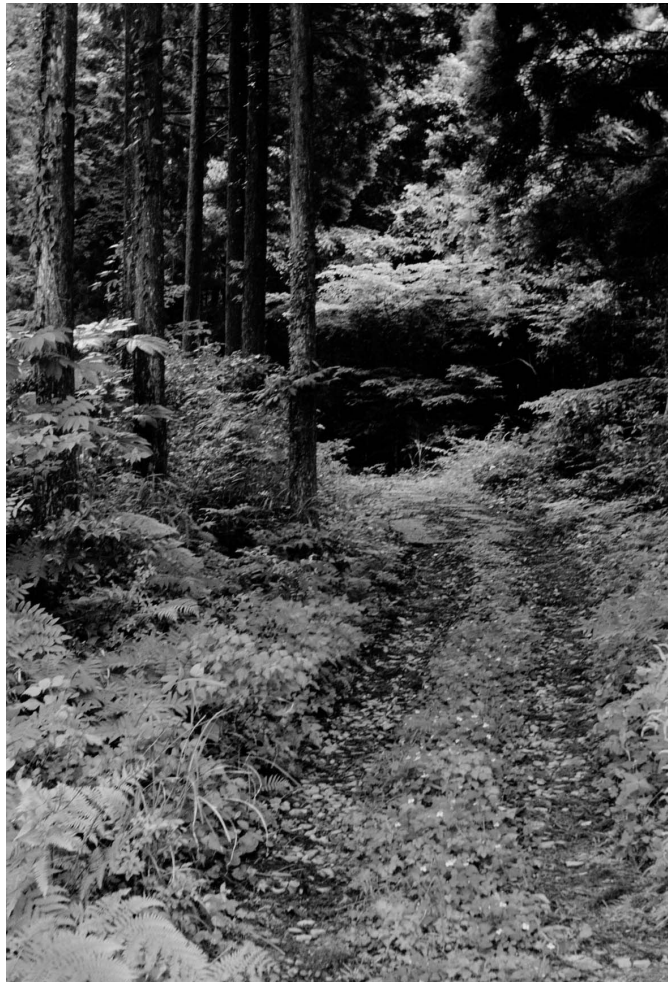
ってきたいものです。

信者であることは…うれしいことでしょうか。神さまを信じて生きることは、わたしたちに幸せをもたらしているのでしょうか。信仰は、教会は…必要なことでしょうか。

ひょっとして…信者であることが悩みの種であったり…面倒なことであったり…いやなことであったり…だとしたら…。

わたしを含めて、まだまだ、神さまがイエスさまをわたしたちに贈ってくださった素晴らしさがわかってないような気がします。信

者であることがいやなことであったり、面倒であったり、教会（ミサ）に行くことが、かえって悩みの種になったり…。もし、このように感じているとしたら、どこかが間違っているのです。イエスさまが命をかけてわたしたちに伝えようとしたことは、決してどうでもいいことではありません。生きて行くうえで、絶対に必要なことです。今のこのような時代だからこそ「信じて生きる」のです。



堅信の準備

イエスさまが残してくださった「特別な恵み」…それが秘跡です。カトリック教会は七つの秘跡を受け継いできました。その中のひとつ、堅信の秘跡を受ける日が決まりました。来年2009年の3月15日（日）です。9時のミサの中で「堅信式」が行われます。

その準備が6月29日（日）から始まります。堅信の準備といえば、昔は「公教要理」を暗記したりしたのですが、今は準備の仕方、内容も変わってきました。準備中にあつかうテーマは次のようなものです…教会ってなんだろう？ 祈りって？ 神さまって？ なんのために生きているの？ 大人になるってどういうこと？ 悪の存在とは？ ほんとうの友だちとは？ 病気と健康。悩み。ゆるしあうことの大切さ。生まれること、死ぬこと。…ビデオを見たり、話しあったり、お話しを聞いたり…いろんな方法で、生きていくために必要なことを考え、理解し、身につけていきます。

体を鍛えることも、知識を得るために勉強することも大事なことです。でも、神と人をつながって生きることは、もっと大切なことです。それがなければ、部活も塾もあまり意味がないとわたしは思うのですが、いかがでしょうか。ほんとうの「生きる力」は神さまとつながることによって得ることができるのです。

受堅（堅信の秘跡を受けること）の対象者は小学6年生から中学2年生。その上の年齢の方でまだ受堅されてない方、希望される方が対象です。「子供じみた話し」ではありません。信じて生きることの大切さをみんなで見つめます。保護者の皆さん、また受堅に直接関係のない皆さんも、ぜひ、この機会に信仰の見直しを一緒にしませんか？

日時、内容などのプログラムは掲示板に貼っています。ぜひご覧ください。日曜日の夜7時半からです。み～んな疲れている時間とは思いますが、わたしも頑張りますので…。

教会って…

教会は、信者の集まりですが、それは神さまから呼ばれた人たちの集まりです。信者が集まるところ、そこに神はおられ、そこが「教会」です。何のために呼び集められるのでしょうか。神はわたしたちに何を呼びかけておられるのでしょうか。わたしたちは祈るとき、それは、ほとんど一方通行です。神にいろんなことを願うでしょう。でも、神もわたしたちに「お願い」したいことがあるのです。祈るときは「言う」だけでなく「聴く」ことが大切です。神がわたしに「お願い」していることに気づくとき、わたしたちの使命、生きる目的が見えてくるでしょう。神は、わたしたち一人ひとりに期待しておられます。

一人で祈るのもいいでしょう。でも、みんなが集まってともに祈るのも…とてもいいことです。たとえば、主日の（日曜日）のミサでは…一週間を振り返ってお恵みを感謝します。過ちの赦しを互いに求め、祈ります。聖書の朗読を聴きながら、神の望みを確かめます。感謝の供え物をして、その後で、イエス・キリストご自身をいただきます。こうして励まされて、また新しい一週間を過ごすのです。

共に集うことは喜びです。なによりも神にとって最高の喜びでしょう。マザー・テレサ（福者コルカタのテレサ）は、何よりも神が喜ばれることを人生の第一目標にしていました。教会…それは…神から呼ばれて集められた人たちの集い。何の隔てもなく、気を遣うこともなく、自由に「おれる」ところ…。そのようなものでありたいです。

幼稚園を見てください…

行橋カトリック幼稚園では「神さまとのつながり、人とのつながり」を大切に保育をしています。今、123人の幼児がいます。満3歳から入園できます。豊津方面にも園バスが行きます。23日（月）～27日（金）は「公開保育週間」です。子どもたちの元気な様子を見に来てください。ホームページでも…。